

様式第十八の四（第11条の3第3項関係）

認定事業適応計画の概要の公表

1. 認定の日付

令和4年10月12日

2. 認定事業適応事業者の名称

オーエスジー株式会社

3. 認定事業適応計画の内容

(1) 事業適応に係る事業の目標

オーエスジーでは、「環境に優しい製品づくり」を環境活動における理念として、ものづくりにおける省エネ化・効率化を実現する新製品や新サービスの開発及び提案に取り組んでいる。さらに環境負荷を軽減するために、各プロセスにおいて「省資源・省エネルギーの推進」「廃棄物削減」「超硬素材リサイクル活動」などにもグループ会社全体で取り組んでいる。気候変動問題への対応を成長の機会ととらえ、企業としての価値を高めて行くべく、「長年使用し老朽化している機械の刷新」および「能力増強、生産効率向上のための機械の増設」を行い、製品の製造時に排出されるCO₂を減少させていくことで、付加価値の創出と環境への負荷低減を両立させていく。

(2) その事業の生産性を相当程度向上させること又はその生産し、若しくは販売する商品若しくは提供する役務に係る新たな需要を相当程度開拓することを示す目標

2022年度より事業適応を開始し、2024年度（目標年度）までに我が社全体の炭素生産性を14.2%向上することを目標とする。

(3) 財務内容の健全性の向上を示す目標

2024年度（計画終了年度）に経常利益を計上することを目標とする。

(4) 事業適応の類型

エネルギー利用環境負荷低減事業適応

(5) 計画の対象となる事業（日本標準産業分類における中分類名称及びその分類コード）

生産用機械器具製造業（26）

（選定の理由）

計画の対象となる事業は主にタップ、ドリル、エンドミル等の切削工具を製造するものであるため。

(6) 事業適応の具体的内容

計画全体年度において、当社4工場で「能力増強、生産効率向上のための機械の増設」および「長年使用し老朽化している機械の刷新」によって炭素生産性を向上させていく。

最新の工作機械には、インバータが搭載されている・起動準備時間が削減される・切削スピードが速いという特長があり、省エネや生産性向上に貢献。ロボットや搬送機械等の補助機械では、加工以外の、取付や出庫にかかる動作スピードの高速化を叶える。

測定機器では、画像判定等の機能で判断の基準を明確にすることができ、品質向上と時間短縮を図る。

熱処理炉には、焼き戻し炉（雰囲気炉）を導入。従来と比較すると、密閉性が高く作ったエネルギーを逃がさず使うことが可能なため処理時間が短縮され、消費電力が削減される。また、一台で窒化処理も可能となるため、従来炉と生産負荷を分散し大量生産が可能になる。

以上、従来のもものよりも、生産能力が高く、かつ、省エネ性能に優れた設備の導入により、炭素生産性向上を実現する。

(7) 事業適応の開始時期及び終了時期

開始時期 2022年8月

終了時期 2024年11月